

平成21年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	町営住宅使用料収納事業				開始年度		
基本目標	快適でうるおいのある生活文化環境の整備				終了年度		
担当課(局)	建設管理課	担当係	管理係	記入者	鳥取 和弘	評価者	曾我部 義雄
20年度決算	千円	21年度予算	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助	<input checked="" type="checkbox"/> 単独	
20年度人件費	6,109 千円	21年度人件費	6,191 千円	事業従事者数	0.85 人	0.85 人	

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	豊かな長寿社会へ向けて、高齢者や若者がともに生き生きとした生活を営むことができる住宅環境の確保
事業の内容	町営住宅入居世帯に対して納付書の発送から収納、督促、催告及び滞納整理

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 収納額(現年度)	滞納者情報について整理を行い、スムーズな徴収業務が遂行できるよう整備を行うことで、収納率を向上させる。
	2 収納額(過年度)	滞納者情報について整理を行い、スムーズな徴収業務が遂行できるよう整備を行うことで、収納率を向上させる。
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 徴収	電話、訪問による納付相談、徴収を行った
	2	
	3	

◎達成状況

指標名		単位	19年度	20年度	21年度
成果指標	収納額(現年度)	目標値	70,923,400	75,885,700	81,506,000
		実績値	70,032,200	72,794,900	
		達成率	98.7%	95.9%	
	収納額(過年度)	目標値	10,253,130	9,543,080	6,968,900
		実績値	1,601,250	1,064,700	
		達成率	15.6%	11.2%	
	0				
活動指標	徴収	目標値	4	4	4
		実績値	4	4	
		達成率	100.0%	100.0%	
		0			
		0			
		0			

◎事務事業の評価

妥当性(必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	公営住宅法に規定された町が直接行う業務
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	滞納者情報について整理を行い、スムーズな徴収業務が遂行できるよう整備を行うことで、収納率を向上させる。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	住宅使用料、町税、保育料それぞれ徴収業務があるが、滞納者が重複している例もあり、同一世帯に複数の職員が訪問している状況があるので、情報を一元化し徴収した方が効率が良い。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	なし

事務事業名	町営住宅使用料収納事業	担当課(局)	建設管理課
-------	-------------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	収納部門を統合する検討も必要であるが、まず納入状況のチェック体制の確立と、滞納状況が誰でも解るような事務の工夫が必要	今後の方向性				
			事業の方向性	拡充	現状維持	縮小	廃止
					○		
			廃止	縮小	現状維持	拡充	
			コスト				

事務事業評価委員会 評価欄	事業	拡充	◎今後は、法的手段もとることが必要でないか。法的手段を積極的に行った上で、不納欠損をしていくべきである。ただし、現在住んでいる者については、公平性の観点から不納欠損はすべきでない。
	コスト	現状維持	